

1 4 . 和牛放牧を活用した耕作放棄地の解消事例

奈良県畜産技術センター育成技術課

柏 原 裕

1 . 放牧の概要

明日香村と天理市の耕作放棄地を電気牧柵で囲い、和牛に雑草を食べさせることで耕作放棄地の適正管理や獣害対策を目標に取り組んだ。放牧牛は、畜産技術センターの和牛（1放牧地に2頭）を利用し、実施主体と畜産技術センターの間で貸付契約を結んだ。飲用水は近くを流れる川の水、あるいは用水路の水をホースで引いて利用した。実施主体の住民が交代で毎日、牛の状態の確認や水・電柵のチェック等を行い、人慣らし効果をねらった少量の配合飼料給与も行った。

2 . 放牧の効果

耕作放棄地を覆っていた雑草は、棚田の状態が見えるまでになり景観保全に効果があった。獣害対策としては、イノシシの住み処は解消されたが周辺果樹園への被害の軽減にはほとんど結びつかなかった。放牧から帰った牛は、再度繁殖や採卵が出来るようになり、成績も回復しリフレッシュ放牧としての効果も高い。